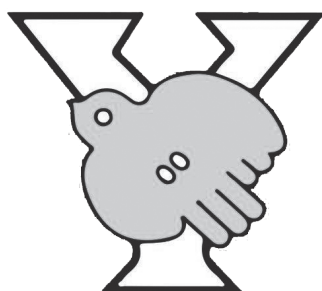


令和8年度  
学 校 要 覧



横浜市立盲特別支援学校

〒 221-0005 横浜市神奈川区松見町 1-26  
電 話 045 (431) 1629  
F A X 045 (423) 0284  
e-mail ysmouinf@edu.city.yokohama.jp  
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/yokomou/index.cfm/1.html>





# 目 次

## 校歌

1. 学校の概要	1
2. 沿革	1
3. 歴代校長	3
4. 教育目標・学部科目目標	4
(1) 学校教育目標	4
(2) 学部科目目標	4
5. 教育課程	5
(1) 年間授業時数・教育課程表	5
(2) 日課表	9
(3) スクールバス運行表	9
(4) 年間行事計画	10
6. 幼稚部教育相談	12
7. 弱視通級指導教室	12
8. 幼児児童生徒の状況	14
(1) 幼児児童生徒数	14
(2) 学級数	14
(3) 幼稚部教育相談在籍数	14
(4) 通級指導教室在籍数	14
(5) 視力別幼児児童生徒数	14
9. 学校組織	15
(1) 教職員数	15
(2) 学校運営組織表	15
10. 災害対策	16
(1) 目的	16
(2) 目標	16
(3) 学校災害対策本部の設置基準	16
(4) 大規模地震発生時の保護者等への情報伝達の方法および対応	16
(5) 校内災害対策委員会	16
(6) 年間計画	16
11. 高等部卒業生の進路状況	17
12. 施設概要	18
13. 学校付近の地図	20
14. 校章の由来	21

# 1. 概要

- (1) 校名 横浜市立盲特別支援学校  
(2) 所在地 〒221-0005 横浜市神奈川区松見町1丁目26番地  
弱視通級指導教室 神奈川小学校分教室  
〒221-0044 神奈川区東神奈川2丁目35-1  
(3) 創立記念日 明治21年2月1日  
(4) 設置課程(科名) 幼稚部、小学部、中学部、高等部本科普通科  
高等部専攻科(保健理療科、理療科)  
(5) 敷地面積 9,160㎡

# 2. 沿革

- 明治 21.2 眼科医浅水進太郎(十明)、盲人を集め、西洋医学の講義を開始。  
// 22.7 中区真砂町に仮校舎を設け、鍼治揉按医術講習学校とし、浅水十明初代校長に就任。  
// 24. 同校第1回卒業生、解剖学科28名、生理学科20名。  
// 25. 校舎を野毛町2丁目に移転(生徒80名)。  
// 26. 横須賀に分校を開校。  
// 40. 横浜盲人学校と校名を改称。  
// 45. 南太田町に新校舎落成。
- 大正 6. 学校経営を横浜鍼灸按師会に移行。  
// 12.9 9月1日大震災にて学校焼失、教員1名死亡。  
// 12.11 南吉田町に仮校舎を設け、教育を再開。  
// 13. 磯子区西根岸に土地293坪を購入し、校舎を新築。  
// 15.4 財団法人に組織を改め、浅水十明、理事長に就任。
- 昭和 18.1 創立者浅水十明死去、83歳、創立以来55年盲教育に専念。  
// 18. 浅水道雄、理事長に就任。  
// 23. 盲・ろう教育義務制施行。  
// 25. 横浜市に移管、横浜市立盲学校として発足(小学部・中学部・高等部設置)。  
東京教育大学付属盲学校教官轟見明音、初代学校長に就任。  
// 25.5 開校式  
// 26.3 あん摩師養成学校(高等部3年、別科2年)として文部大臣認定。  
// 26. 第1回卒業式。  
// 26. スクールバス運転開始。  
// 27.6 現在地に校地設定(約1,200坪)。  
// 27.10 校舎第1期工事2棟完成(9教室)。  
// 27.11 天皇皇后両陛下より皇太子立太式に際し、御下賜金拝領。  
// 28.2 校舎第2期工事完成(5教室)。  
// 28.10 校地拡張敷地延数2,753坪(内運動場1,000坪)。  
// 28.11 創立65周年祝賀式。  
// 29.2 あん摩師、はり師、きゅう師養成学校(専攻科2年)として文部大臣認定。  
// 29.6 校舎第3期工事1棟(主として高等部)164坪竣工。  
// 33.11 創立70周年記念、浅水先生銅像除幕式。  
// 35.11 市移管10周年記念式。  
// 38.3 新校舎建築第1期工事完了。  
// 41.3 新校舎建築第2期工事完了。  
// 43.3 新校舎第3期工事完了。  
// 44.6 4・5歳児学級認可。  
// 45.3 講堂兼体育館完成。  
// 45.5 新校舎落成・創立80周年・市移管20周年記念式。  
// 48.4 高等部本科普通科・保健理療科、専攻科理療科の設置。  
// 48.7 プール完成(6m×25m 3コース。別に扇形児童用プール)。  
// 50.12 松見・大口地区福祉の風土づくり推進会発足(市福祉モデル地区指定)。  
// 51.3 視覚障害者誘導ブロック整備。(JR大口駅←本校→東急妙蓮寺駅)  
// 51.11 創立90周年記念式。  
// 54.3 C棟完成。  
// 56.4 3歳児学級認可。  
// 59.11 博報賞・文部大臣奨励賞受賞。  
// 63.8 仮校舎(新横浜)移転。  
// 63.11 校舎改築工事着工。

- 平成 2.3 新校舎建築完了。  
 // 2.4 高等部専攻科保健医療科の設置。(本科保健医療科廃止)  
 // 2.5 新校舎落成・創立100周年・市移管40周年記念式。  
 // 10.9 リフト付きスクールバス2台配置。  
 // 10.11 第34回全国身体障害者スポーツ大会(かながわゆめ大会)に音楽隊として参加。  
 // 11.9 校内「LAN」(Local Area Network)の敷設。  
 // 12.11 創立110周年・市移管50周年記念式。  
 // 13.1 町村信孝文部科学大臣本校視察。  
 // 15.4 校内、新組織の施行  
 // 15.11 視覚障害者誘導ブロック整備。(京急子安駅⇄本校)  
 // 16.10 はまっ子ふれあいスクール開所。  
 // 19.3 はまっ子ふれあいスクール専用ルーム設置。  
 // 19.4 横浜市立盲特別支援学校に校名変更。  
 // 22.4 副校長2人制開始。  
 // 22.7-10 全館空調設備設置工事完了。  
 // 22.10 創立120周年・市移管60周年記念式。  
 // 23.3 横浜市優秀教育実践校として表彰。  
 // 23.4 通級指導教室設置。(横浜市立神奈川小学校内)  
 // 23.6-10 給食棟改築工事完了。  
 // 25.4 通級センター機能部設置。  
 // 25.4 学校評議員会制度発足。  
 // 26.4 学校後援会制度発足。  
 // 26.10-2 体育館天井改築工事完了。  
 // 27.4 学校司書制度発足。  
 // 28.4 校内組織10分掌を7分掌に再編。  
 // 30.4 東急妙蓮寺駅ホームドア設置。
- 令和 2.1 校舎全館機械警備開始。  
 // 2.4 学校運営協議会設置。  
 // 2.10 創立130周年・市移管70周年記念式。  
 // 「フロアバレーボール発祥の地・横浜」モニュメント設置。  
 // 3.4 「しもん」本校公認キャラクター就任。(下図参照)  
 // 3.7 JR大口駅ホームドア設置。  
 // 3.10 昇降口自動扉工事完了。  
 // 3.10 日本テレビドラマ「恋です！ヤンキー君と白杖ガール」放送。(本校も撮影現場となる)  
 // 4.1 東側トイレ工事完了。  
 // 4.3 エレベータ工事完了。  
 // 5.2 体育館エアコン取付工事完了。  
 // 5.12 外壁改修工事完了。  
 // 6.12 屋上防水工事完了。  
 // 7.1 グランド桜樹木強剪定。  
 // 7.4-9.3 全日本盲学校教育研究会事務局運営。  
 // 7.12 第66回弱視教育研究全国大会(横浜大会)本校主管で開催。



横浜市立盲特別支援学校  
公認キャラクター「しもん」

### 3. 歴代校長

鍼治揉按医術講習学校	初 代	浅水十明	明治 22.7~
横濱盲人学校	初 代	浅水十明	明治 40.4~
	第 2 代	三橋菱三郎	大正 6.12~
	第 3 代	小島金次郎	昭和 9.4~
横浜市立盲学校	初 代	靄見明音	昭和 25.~
	第 2 代	松尾良雄	昭和 39.9~
	第 3 代	岩沢慶尚	昭和 45.9~
	第 4 代	林多有太	昭和 55.9~
	第 5 代	上原敏和	昭和 58.9~
	第 6 代	鎌田克美	昭和 62.4~
	第 7 代	加藤信郎	平成 4.4~
	第 8 代	森川弘敏	平成 6.4~
	第 9 代	中井能弘	平成 9.4~
	第 10 代	山内 修	平成 11.4~
横浜市立盲特別支援学校	第 11 代	齋藤政和	平成 15.4~
	第 12 代	田辺政美	平成 20.4~
	第 13 代	星野 勉	平成 24.4~
	第 14 代	清水隆宏	平成 27.4~
	第 15 代	和内正也	平成 29.4~
	第 16 代	長尾 一	平成 31.4~
	第 17 代	吉田英輝	令和 6.4~
	第 18 代	伊藤正俊	令和 8.4~

## 4. 教育目標・学部科目目標

### (1) 学校教育目標

- 1 自ら学び、自ら考え行動し、問題を解決する力を育てます。(知)
- 2 自ら、心と体をすこやかにはぐくもうとする意欲を育てます。(徳・体)
- 3 互いの生き方と考え方を尊重し、主体的に社会参加する力を育てます。(徳・公)
- 4 障害を理解し、自分の良さや可能性をより高めようとする意欲を育てます。(開)

### (2) 学部科目目標

【幼稚部】 \*幼稚部教育相談もこれに準ずる。

- 1 子どもたちが元気に育つようにします。
- 2 子どもたちが自分で遊べるようにします。
- 3 子どもたちが友達と楽しく遊べるようにします。
- 4 子どもたちが身のまわりのことを自分でできるようにします。

【小学部】

- 1 健康に留意し、体力をつけて、元気に生活できるように働きかけます。
- 2 生活の基本的動作を獲得し、充実した生活ができるように取り組みます。
- 3 意思の伝達や自己表現などの基礎的な力を身につけられるように取り組みます。
- 4 生活経験を広げ、周りの人との豊かな交わりを増やせるよう働きかけます。

【中学部】

- 1 心身ともに健康で安全な生活ができるようにします。
- 2 豊かなかかわり合いを通し、相手を思いやり、共に学び合う姿勢が育つようにします。
- 3 学ぶ楽しさを知り、興味関心が広がるようにします。
- 4 様々な体験活動を通して、自主的な態度や自己を生かす力を伸ばせるようにします。

【高等部本科普通科】

- 1 一人一人の個性を大切に可能性を伸ばし、自分を表現する力を育てます。
- 2 人との関わり合いから互いに学びあい、豊かな人間関係をつくる力を育てます。
- 3 いろいろな体験活動を通じて自ら学び続ける姿勢を育てます。
- 4 一人一人が自分の生き方を見つめ、自分にあった進路を選び豊かに生きる力を育てます。

【高等部専攻科保健医療科・理療科】

- 1 施術者として、患者の苦痛を理解するとともに、人権を尊重し、誠意をもって接する態度を身につけます。
- 2 第1・2学年では、基礎的な知識と技能を、第3学年では、卒業後の進路を見据えた臨床的な知識・技能を習得します。
- 3 国家試験合格を目指して達成度試験・模擬試験を段階的に行ない、必要に応じて個別指導を取り入れ、学習内容の定着に努めます。
- 4 専門的知識・技能を身につけるとともに、全人的医療の立場にたった施術者を目指します。
- 5 学校生活の中で他者の人権を尊重し、誠意をもって接する態度を実践します。
- 6 積極的・謙虚な態度で学ぶ姿勢をもち、実技・臨床実習では生徒・職員・患者へ感謝の気持ちをもって接していきます。

# 5. 教育課程

## (1) 年間授業時数

### ① 幼稚園部

年齢	週時数	領域
3歳	20	健康、人間関係、環境、言語、表現、自立活動
4歳	23	
5歳	24	

幼稚園部日課表	
9:35	登校
10:00	朝の会
10:10	集団活動
12:00	給食
12:50	着替え・帰りの会・個別
13:20	
14:20	

### ② 小学部

○単一障害学級（下学年対応を含む）

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	道徳科	外国語活動	学習の時間 総合的な	特別活動	Y I C A	自立活動	総授業時数
第1学年	306		136		102	68	68		102	34			34	20	93	963
第2学年	315		175		105	70	70		105	35			35	20	63	993
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35		70	35	35	42	1022
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35		70	35	35	40	1055
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	70	70	35		65	1080
第6学年	170	105	175	105		50	50	55	90	35	70	70	35		31	1041

○重複障害学級

┆単位時間45分

	国語・算数	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	道徳科	外国語活動	学習の時間 総合的な	特別活動	Y I C A	自立活動	総授業時数
第1学年	426	110	68	68		110	34			34	20	93	963
第2学年	445	110	70	70		110	35			35	20	98	993
第3学年	420	110	70	70		110	35		70	35	35	67	1022
第4学年	420	110	70	70		110	35		70	35	35	100	1055
第5学年	375	110	70	70	70	110	35		70	35	70	65	1080
第6学年	370	110	70	70	70	110	35		70	35	70	31	1041

┆単位時間45分

### ③ 中学部

○単一障害学級（下学年対応を含む）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	道徳科	特別活動	学習の時間 総合的な	自立活動	総授業時数
第1学年	140	105	140	105	55	50	105	70	105	35	35	87		1032
第2学年	140	105	105	140	55	50	105	70	105	35	35	87		1032
第3学年	105	105	140	140	55	50	105	70	105	35	35	87		1032

○重複障害学級

┆単位時間50分

	朝の生活	国語・数学	理科・社会	音楽	美術	保健体育	家庭	外国語	道徳科	特別活動	学習の時間 総合的な	自立活動	総授業時数
第1学年													
第2学年	140	175	140	70	70	105	70	70	35	35	122		1032
第3学年													

┆単位時間50分

#### ④本科普通科

##### ○総合コース

(単位数)

教科	必・選	科目	1年		2年		3年	
			必	選	必	選	必	選
国語	●	現代の国語	2			1		2
	●	言語文化	1		1			
		国語表現			2		2	1
地理歴史	●	地理総合	3					
	●	歴史総合					4	
公民	●	公共			3			1
数学	●	数学Ⅰ	2		2			
		数学Ⅱ						4
		数学A	1		1	1		1
理科	○	科学と人間生活	3					
	○	生物基礎			3			
	○	生物						4
体育	●	体育	3		3		3	
	●	保健	1		1			
芸術 Iを付したI科目 選択必修	○	音楽Ⅰ		2		2		2
		音楽Ⅱ				2		2
	○	美術Ⅰ		2		2		2
		美術Ⅱ				2		2
英語	●	英語コミュニケーションⅠ	3					
		英語コミュニケーションⅡ			4			
		英語コミュニケーションⅢ						4
		論理・表現Ⅰ						2
家庭	○	家庭総合	2		2			2
情報	●	情報Ⅰ	1		1			1
	●	総合的な探究の時間	1		1			1
学校設定科目		作業学習	3			3		6
		小論文				1		1
		情報基礎				1		1
自立活動			1		1	2	1	2
選 択			2		4		18	
ホームルーム(*1)			(1)		(1)		(1)	
計			29		29		29	

1単位時間50分

●は学習指導要領に示された必修修科目、○は同選択必修修科目  
単位数は本校の教育課程における必修修単位数および選択履修単位数

1年次は必ず芸術から2単位選択する

2年次に数学Aを選択していない場合、3年次は必ず1単位選択する

3年次は英語を1科目以上選択する

\*1 総合コースのホームルームは単位認定でないで( )

\*2 生活コースの生活では保健の内容も扱う

\*3 職業コースの芸術は1年次に選択し、3年間同じ教科を行う

##### ○生活コース

(週時数)

教科	1年	2年	3年	
教科	社会	1	1	1
	理科	1	1	1
	体育	3	3	3
	音楽	2	2	2
	英語	1	1	1
自立活動	朝の生活	4	4	4
	個別課題 (国語・数学・読書)	5	5	5
	生活(*2)	5	5	5
	創作	2	2	2
	作業学習	2	2	2
	集団活動/道徳	2	2	2
ホームルーム	1	1	1	
総合的な探究の時間	1	1	1	
計	30	30	30	

1単位時間50分

##### ○職業コース

(週時数)

教科	1年	2年	3年
国語/道徳	5	5	5
社会	1	1	1
数学	2	2	2
理科	1	1	1
体育	3	3	3
保健	1	1	1
芸術選択 (*3) 音楽/美術	2	2	2
英会話	1	1	1
家庭	2	2	2
情報	1	1	1
職業基礎	1	1	1
作業学習	6	6	6
自立活動	2	2	2
ホームルーム	1	1	1
総合的な探究の時間	1	1	1
計	30	30	30

1単位時間50分

## ⑤高等部専攻科-保健理療科

(単位数)

	科目名	内容	1年	2年	3年	合計
基礎分野	社会福祉学	社会福祉学	2			2
	医学英語	医学英語			2	2
	レクリエーション概論	レクリエーション概論		2		2
	心理学	心理学		2		2
	コミュニケーション概論	コミュニケーション概論	2			2
	情報活用	情報活用	2		2	4
		小計	6	4	4	14
専門基礎分野	医療と社会	医療概論	2			2
		社会保障制度及び職業倫理			2	2
	人体の構造と機能	解剖・生理Ⅰ	7			7
		運動学		1		1
		解剖・生理Ⅱ	6			6
	疾病の成り立ちと予防	病理学概論		2		2
		衛生学・公衆衛生学	3			3
	生活と疾病	臨床医学総論		3		3
		臨床医学各論		5	1	6
		リハビリテーション医学		2		2
	小計	18	13	3	34	
専門分野	基礎保健理療	保健理療理論(あはき史含む)			2	2
		経絡経穴概論	3			3
		東洋医学概論		3		3
	臨床保健理療	保健理療臨床論			4	4
		病態生理学			1	1
		あはきの適応の判断			1	1
		検査評価学		4		4
		生体観察		1		1
	地域保健理療と保健理療経営	地域保健理療と保健理療経営			2	2
	保健理療基礎実習	あん摩実技	6	3		9
		マッサージ実技		2		2
		指圧実技		1		1
		経絡経穴取穴実技	1			1
		運動療法		1		1
		保健理療応用実習			1	1
		臨床実習前評価		1		1
保健理療臨床実習	校内実習		1	7	8	
	校外実習			1	1	
総合領域	課題研究			10	10	
	小計	10	17	29	56	
	合計	34	34	36	104	

1単位時間50分

## ⑤高等部専攻科-理療科

(単位数)

	科目名	内容	1年	2年	3年	合計
基礎分野	社会福祉学	社会福祉学	2			2
	医学英語	医学英語			2	2
	レクリエーション概論	レクリエーション概論		2		2
	心理学	心理学		2		2
	コミュニケーション概論	コミュニケーション概論	2			2
	情報活用	情報活用	2		2	4
		小計	6	4	4	14
専門基礎分野	医療と社会	医療概論 社会保障制度及び職業倫理	2		2	2
	人体の構造と機能	解剖学	6			6
		生理学	5			5
		運動学		1		1
	疾病の成り立ちと予防	病理学概論		2		2
		衛生学・公衆衛生学	2			2
	生活と疾病	臨床医学総論		2		2
臨床医学各論			4		4	
リハビリテーション医学			2		2	
	小計	15	11	2	28	
専門分野	基礎理療学	理療理論(あはき史含む)			3	3
		東洋医学概論		4		4
		経絡経穴概論	3			3
	臨床理療学	理療臨床論			4	4
		病態生理学			1	1
		あはきの適応の判断			1	1
		生体観察		1		1
		検査評価学		4		4
		理療応用Ⅰ			2	2
		理療応用Ⅱ			2	2
	地域理療と理療経営	マッサージ実技			2	2
	理療基礎実習	あん摩実技	5			5
		経絡経穴取穴実技	1			1
		マッサージ実技		2		2
		指圧実技		1		1
		運動療法		1		1
		はり実技	4	3		7
きゅう実技			1		1	
臨床実習前評価			1		1	
理療臨床実習	校内実習		1	4	5	
	校外実習			1	1	
総合領域	カンファレンス			4	4	
	課題研究Ⅰ			2	2	
	課題研究Ⅱ			2	2	
	総合臨床			3	3	
		小計	13	19	31	63
	合計	34	34	37	105	

1単位時間50分

## (2) 日課表

区分	小学部	中学部・普通科	専攻科
教職員打ち合わせ	8:30~8:35		
朝の会/HR	8:40~8:55	8:45~8:55	8:45~8:50
1校時	8:55~9:40	8:55~9:45	8:50~9:40
休憩	0	5分	5分
2校時	9:40~10:25	9:50~10:40	9:45~10:35
中休み/休憩	10:25~10:40	5分	5分
3校時	10:40~11:25	10:45~11:35	10:40~11:30
休憩	0	5分	5分
4校時	11:25~12:10	11:40~12:30	11:35~12:25
給食	12:10~13:00	12:30~13:00	12:25~13:00
昼休み	15分(65分)	15分(45分)	15分(50分)
5校時	13:15~14:00	13:15~14:05	13:15~14:05
休憩	0	5分	5分
6校時	14:00~14:45	14:10~15:00	14:10~15:00
総合的な学習の時間 /自立活動	14:45~15:05		
帰りの会/HR	15:05~15:10	15:05~15:10	

## (3) スクールバス運行表

### 【登校便】

横浜コース			新横浜コース		
乗降場所	⑧バス	⑨バス	乗降場所	⑧バス	⑨バス
横浜駅東口	8:15	9:15	新横浜駅	8:05	9:10
東神奈川駅	8:25	9:25	菊名駅	8:20	9:25
盲学校	8:35	9:35	盲学校	8:35	9:35

### 【下校便】

横浜コース			新横浜コース		
乗降場所	①バス	②バス	乗降場所	①バス	②バス
盲学校	13:20	14:20	盲学校	13:20	14:20
東神奈川駅	13:30	14:30	菊名駅	13:30	14:30
横浜駅東口	13:40	14:40	新横浜駅	13:45	14:45
乗降場所	③バス	④バス	乗降場所	③バス	④バス
盲学校	15:15	16:00	盲学校	15:15	16:00
東神奈川駅	15:25	16:10	菊名駅	15:25	16:10
横浜駅東口	15:35	16:20	新横浜駅	15:35	16:25

(4) 年間行事計画

# 令和8年度年間行事予定表

横浜市立盲特別支援学校

4月		5月		6月		7月		8月		9月							
1	水	春季休業開始	1	金		1	月	幼：小学部見学会、個人面談週間～12、運動会予備日（小中普）	1	水	普：校内実習	1	土		1	火	給食開始、総合防災訓練
2	木		2	土		2	火	開港記念日（学校閉庁日）	2	木	小：高学年校内宿泊～3	2	日		2	水	
3	金		3	日	憲法記念日	3	水		3	金	普：遠足	3	月	（学校閉庁日） 専3：夏季職場実習～7	3	木	
4	土		4	月	みどりの日	4	木		4	土		4	火	（学校閉庁日）	4	金	
5	日		5	火	こどもの日	5	金	専：中間試験① 就学説明会、保護者学習会	5	日		5	水	（学校閉庁日）	5	土	
6	月	春季休業終了	6	水	振替休日	6	土		6	月	朝会	6	木	（学校閉庁日）	6	日	
7	火	始業式・着任式 入学式	7	木	小：家庭訪問・個人面談週間～15	7	日		7	火	専3：第1回模擬試験①	7	金	（学校閉庁日）	7	月	朝会
8	水		8	金	中：遠足	8	月	専：中間試験② 普：中間試験週間 朝会	8	水	専3：第1回模擬試験②	8	土	（学校閉庁日）	8	火	中普：期末試験① 中：校内実習
9	木		9	土		9	火	専：中間試験③	9	木		9	日	（学校閉庁日）	9	水	中普：期末試験② 中：校内実習
10	金	専：新入生オリ①	10	日		10	水	小：高学年遠足	10	金	聞盲弁論大会<山梨>	10	月	（学校閉庁日）	10	木	普：期末試験③
11	土		11	月	朝会	11	木	中：中間試験①、校内実習	11	土		11	火	山の日	11	金	
12	日		12	火	幼：遠足、中普：保護者会、普：授業参観	12	金	中：中間試験②、校内実習	12	日		12	水	（学校閉庁日）	12	土	
13	月	給食開始、朝会 普：新入生歓迎会	13	水	中普：弁論大会	13	土		13	月		13	木	（学校閉庁日）	13	日	
14	火		14	木		14	日		14	火		14	金	（学校閉庁日）	14	月	
15	水		15	金	学校運営協議会①	15	月	全校授業公開週間、小中普：個人面談週間、教科面談週間（普）	15	水		15	土	（学校閉庁日）	15	火	
16	木		16	土		16	火	避難訓練（火災）	16	木		16	日	（学校閉庁日）	16	水	
17	金		17	日		17	水		17	金	給食終了、小～ 専：休み前集会	17	月	専3：夏季職場実習～21	17	木	
18	土		18	月		18	木		18	土		18	火	全国FV大会<沖縄>	18	金	
19	日		19	火		19	金		19	日		19	水	全国FV大会<沖縄>	19	土	
20	月		20	水		20	土		20	月	海の日	20	木	全国FV大会<沖縄>	20	日	
21	火		21	木		21	日		21	火	夏季休業開始～ 8/26	21	金		21	月	敬老の日
22	水		22	金		22	月		22	水	夏の相談日	22	土		22	火	国民の休日
23	木		23	土	聞盲FV大会<千葉>	23	火	中：中学部説明会 普：普通科説明会	23	木	夏の相談日 サマーセミナー	23	日		23	水	秋分の日
24	金	小：新入生歓迎会・保護者会・クラス別懇談会、PTA総会	24	日		24	水		24	金	夏の相談日	24	月	専：夏季職場実習～26	24	木	専：期末試験①
25	土		25	月		25	木		25	土		25	火		25	金	専：期末試験②
26	日		26	火	運動会予行	26	金		26	日		26	水	夏季休業終了	26	土	
27	月		27	水		27	土		27	月	小～専：休み明け集会	27	木		27	日	
28	火		28	木	幼：運動会	28	日		28	火		28	金		28	月	専：期末試験③ 幼：個人面談週間～10/9
29	水	昭和の日	29	金	小中普：運動会	29	月	不審者対応訓練① 普：校内実習	29	水	全日盲研総会<福島>	29	土		29	火	
30	木		30	土		30	火	普：校内実習	30	木	全日盲研福島大会	30	日		30	水	中3：修学旅行～10/2
			31	日					31	金	全日盲研福島大会	31	月	幼：就学相談週間～4			

# 令和8年度年間行事予定表

横浜市立盲特別支援学校

10月		11月		12月		1月		2月		3月					
1	木	1	日	1	火	1	金	元日	1	月	創立記念日・講話	1	月	専：期末試験①、 小中普：個人面談週間	
2	金	2	月	振替休業日	2	水	2	土	2	火		2	火	専：期末試験②	
3	土	3	火	文化の日	3	木	3	日	3	水	中普：期末試験① 中：校内実習	3	水		
4	日	4	水		4	金	4	月	(学校閉庁日)	4	木	幼：お別れ遠足、中 普：期末試験②、中： 校内実習	4	木	
5	月	5	木	専3：第2回模擬 試験①	5	土	5	火	(学校閉庁日)	5	金	普：期末試験③	5	金	
6	火	6	金	幼：秋の遠足 専3：第2回模擬試験 ②	6	日	6	水	冬季休業終了	6	土		6	土	
7	水	7	土	関盲陸上大会<横 浜>	7	月	7	木	朝会・本はともだちコ ンクール表彰式	7	日	小～専：休み明け 集会	7	日	
8	木	8	日	学校運営協議会②	8	火	8	金	給食開始、専：推 薦入学検査実施日	8	月	朝会	8	月	
9	金	9	月	朝会、普：個別面談週 間(中3対象)	9	水	9	土		9	火		9	火	普：3年生を送る 会
10	土	10	火	幼：フェスティバル、 専：オープンスクール	10	木	10	日		10	水	学校運営協議会③	10	水	小～専：卒業式予 行
11	日	11	水	普2：修学旅行～ 13	11	金	11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木	幼：修了式、中： 卒業生を送る会
12	月	12	木	スポーツの日	12	土	12	火		12	金		12	金	小4～専：卒業式・修 了式、幼小1～3年： 家庭学習
13	火	13	金	期分け式(全校)	13	日	13	水	避難訓練(地震・ 火災)	13	土		13	土	
14	水	14	土		14	月	14	木		14	日		14	日	
15	木	15	日	中12：宿泊学習～ 16	15	火	15	金	専：推薦入学検査 合格発表	15	月		15	月	
16	金	16	月		16	水	16	土		16	火	入学説明会	16	火	
17	土	17	火		17	木	17	日		17	水		17	水	
18	日	18	水		18	金	18	月		18	木		18	木	
19	月	19	木	避難訓練(火災)	19	土	19	火		19	金		19	金	給食終了
20	火	20	金		20	日	20	水	専3：第3回模擬試 験①	20	土		20	土	春分の日
21	水	21	土		21	月	21	木	専3：第3回模擬試 験②	21	日		21	日	
22	木	22	日		22	火	22	金		22	月	幼：個人面談週間 ～3/5	22	月	振替休日
23	金	23	月	勤労感謝の日	23	水	23	土		23	火	天皇誕生日	23	火	
24	土	24	火	中：中間試験①、校内 実習、普：中間試験週 間	24	木	24	日		24	水		24	水	
25	日	25	水	中：中間試験②、 校内実習	25	金	25	月	給食終了、小～専：休 み前集会、専：臨床体 験発表会	25	木		25	木	修了式・離任式
26	月	26	木	専：中間試験①	26	土	26	火	冬季休業開始	26	金	専：期末試験①、小： 6年生を送る会、保護 者会、中普：卒業遠足	26	金	学年末休業開始
27	火	27	金	専：中間試験②	27	日	27	水	(学校閉庁日)	27	土	専：後期期末試験専： あん摩師国家試験	27	土	
28	水	28	土		28	月	28	木	(学校閉庁日)	28	日	普：入学検査 家庭学習	28	日	専：はり師・きゅう 師国家試験
29	木	29	日		29	火	29	金	幼～専：入学検査・入 学相談、家庭学習				29	月	
30	金	30	月	不審者対応訓練② 専：中間試験③	30	水	30	土					30	火	
31	土			小中普：文化的行 事	31	木	31	日					31	水	学年末休業終了

## 6. 幼稚部教育相談

### (1) 目的

【早期教育相談】 0～2歳

視覚障害を有する乳幼児及びその保護者に対し、乳幼児の特性・発達段階に応じた発達課題を習得するために、遊びや日々の接し方など子育て全般にわたってのアドバイスや支援を行う。

【教育相談】 3～5歳児

地域の幼稚園や保育園に在籍している視覚障害を有する幼児に対し、生活面、運動感覚面、学習の支援を行う。

### (2) 活動内容

【早期教育相談】

自分から興味のある物に手を伸ばして遊んだり、身体を動かして遊んだりできるように、探索、移動、コミュニケーション、保有視覚の活用、他の感覚（特に触察）の活用などに関する乳幼児の活動を保護者ととともに促し、保護者の育児支援を行う。

【教育相談】

早期教育相談の内容とともに、園での生活で不足する部分の活動や就学に向けての支援を行う。

### (3) 活動形態

【早期教育相談】

週1回～月1回程度、担当教員、保護者と一緒に活動する。

【教育相談】

月に1・2回程度、担当教員と活動する。

### (4) 教育相談件数

	市内	市外
早期教育相談	8	1
教育相談	2	2

(R7年度) \*数字は、ケース数であり、相談は年間を通して行っています。

## 7. 弱視通級指導教室（小学部・中学部・高等部） 盲特別支援学校通級指導教室神奈川小学校分教室

### (1) 目的

視覚障害を有し、横浜市立小中高等学校の一般学級に在籍する児童生徒に対し、学習や生活における困難を自ら乗り越えるための指導・支援を行う。

- ・ 学習および生活上のつまづきを把握し、保護者や在籍校担任との連携を図り、適切な支援を行う。
- ・ 現在の視覚を上手に活用する指導や、目と手の協応を高める指導、単眼鏡やルーペ等の活用の指導、見え方に起因する学習上の困難が予想される教科の支援・指導を行う。
- ・ 児童生徒自身が自らの視覚の状態を理解し、日常生活の中で視覚管理を行えるよう支援する。

## (2) 指導内容

- ・ 視覚管理の意識を育て、心理的安定を図る指導
- ・ 視覚補償に必要な拡大教材や視覚補助具等の活用に関わる指導
- ・ 視覚認識を高める指導
- ・ 見え方による学習上・生活上の課題を共有し、解決に向けた指導

## (3) 指導形態

### 【他校通級】

神奈川小学校分教室にある通級指導教室に来室し、担当教員との個別指導を行う。

一人ひとりの課題や強みに合わせた指導、支援を行う。

### 【協働型巡回指導】

通級指導担当教員が在籍校を訪問し、児童生徒への支援について在籍校の教職員と協働して行う。巡回指導では、児童生徒への直接的な指導だけでなく、担任や学年職員との情報共有、支援方法の共有、合理的配慮の確認なども行う。

### 【集団指導】

指導目標によっては、計画的にグループでの小集団指導を行う。また、通級に在籍する児童生徒と市内の弱視個別支援学級に在籍する児童生徒とが一緒に活動する場を設定する。生活経験の拡大や弱視児童生徒同士の交流を図る。

## (4) 日課表

	月	火	水	木	金
8:45～12:00	指導	指導	指導	指導	指導
13:45～16:45	指導	指導	指導・研究	指導	指導

\*小学生は1コマ45分、中学生は1コマ50分とする。1回の指導につき、原則2コマ指導を行う。

## (5) 横浜市立学校弱視個別支援学級 (R8.5.1)

	小学校	中学校	計
設置校数	15	7	22
在籍人数	17	9	26

(内 点字使用3校)

## (6) 相談件数 (R7年度) 件数総数 162件

地域		校種		学級種		相談者		相談方法	
横浜市立	137	小学校	121	一般学級	22	学校関係者	129	メール	58
その他	25	中学校	38	弱視級	132	保護者	33	TEL	55
		高等学校	2	個別級	7			FAX	2
		特別支援	1	その他	1			対面	47

### 【相談内容】

視覚に関わる相談	33	学校支援	37	施設見学	10
弱視教育に関わる相談	49	視覚補助具等の貸出	33		

## 8. 幼児児童生徒の状況

2026/5/1現在

### (1) 幼児児童生徒数

学部	学年	男	女	計	
幼稚部	年少	1	1	2	
	年中	2	1	3	
	年長	2	0	2	
	小計	5	2	7	
小学部	小1	0	2	2	
	小2	3	3	6	
	小3	2	1	3	
	小4	2	0	2	
	小5	3	3	6	
	小6	1	0	1	
	小計	11	9	20	
中学部	中1	2	3	5	
	中2	3	1	4	
	中3	3	0	3	
	小計	8	4	12	
高等部	高等部 本科 普通科	普1	4	3	7
		普2	3	4	7
		普3	2	3	5
		小計	9	10	19
	専攻科 保理科	保1	1	1	2
		保2	3	3	6
		保3	0	2	2
		小計	4	6	10
	専攻科 理療科	理1	4	3	7
		理2	1	0	1
		理3	2	3	5
		小計	7	6	13
	計		44	37	81

### (2) 学級数

学部	
幼稚部	4
小学部	10
中学部	6
本科普通科	7
専攻科保理科	3
専攻科理療科	3
計	33

### (3) 幼稚部教育相談在籍数

11
----

### (4) 通級指導教室在籍数

校種	
小	2
中	9
計	11

### (5) 視力別幼児児童生徒数

視力	幼稚部	小学部	中学部	普通科	保理科	理療科	計	通級
0.02 未満	4	12	3	8	4	2	33	0
0.02 以上 0.3 未満	2	7	9	10	5	5	38	2
0.3 以上	1	1	0	1	1	6	10	9
計	7	20	12	19	10	13	81	11

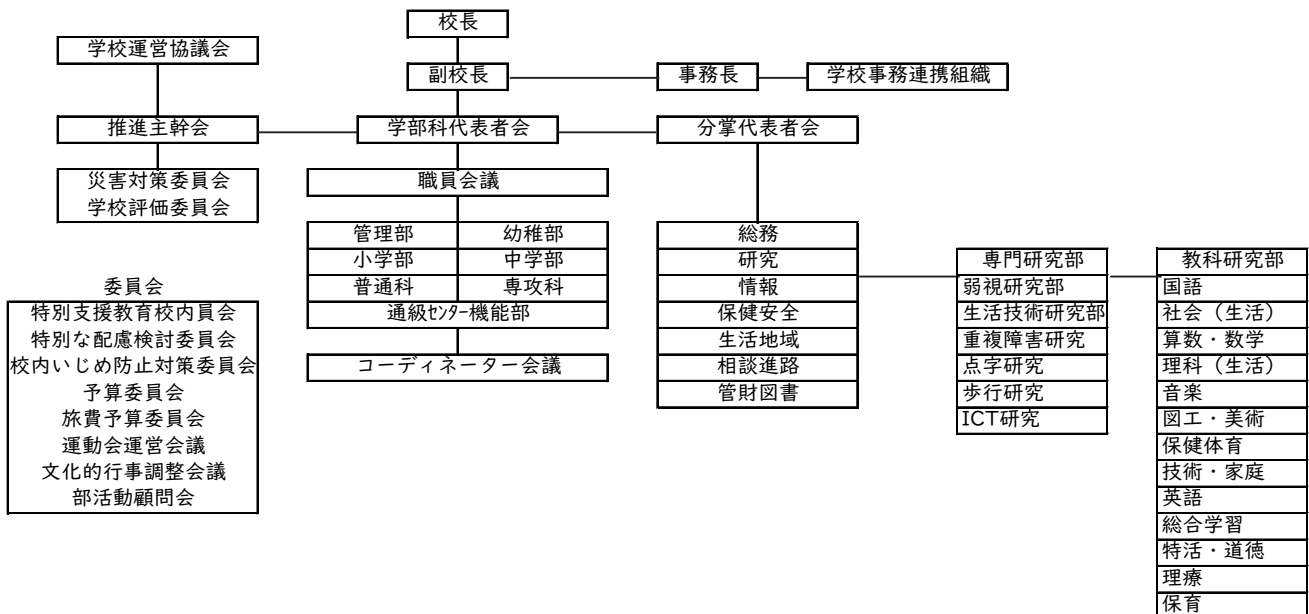
# 9. 学校組織

2026/5/1現在

## (1) 教職員数

職種	男	女	計	職種	男	女	計
校長	1		1	事務職員	2	1	3
副校長	2		2	学校司書		1	1
事務長	1		1	調理員	1	3	4
主幹教諭	3	1	4	技能員	1	2	3
教諭	23	47	70	校医	3	1	4
養護教諭		2	2	薬剤師		1	1
栄養教諭		1	1	職員室アシスタント	1		1
実習助手	1	3	4	副校長サポーター	1		1
非常勤講師		4	4		40	67	107

## (2) 学校運営組織表



# 10. 災害対策

## (1) 目的

- ・ 火災、地震等の不慮の災害発生の場合、幼児児童生徒の生命を守り、安全確実に避難誘導ができるようにする。

## (2) 目標

- ・ 自他の生命を守り、尊重する精神を養う。
- ・ 事故や災害の防止に必要な知識技能を習得する。
- ・ 大災害時に自ら命を守る行動が臨機応変にできる能力を身につける。
- ・ 災害や事故発生後の処置の技能を習得する

## (3) 学校災害対策本部の設置基準

- ・ 次の場合、早期に学校災害対策本部を設置し、初期対応を行う。

- ・ 地域のいずれかで、震度5強以上の地震が観測されたとき
- ・ 「南海トラフ地震に関する情報」(臨時)が発表され、地震発生の可能性が相対的に高まった場合

## (4) 大規模地震発生時の保護者等への情報伝達の方法および対応

- ・ 保護者等への情報伝達については、緊急連絡、すぐーる配信、本校ホームページ等、多様な方法で行う。
- ・ 大規模地震発生時においては、幼児児童生徒は原則留め置きとし、帰宅に向けて通学経路の安全確保が確認できた場合のみ、保護者引き渡しの形で帰宅を認める。(専攻科は単独帰宅を認めることもある)

## (5) 校内災害対策委員会

- ・ 委員長(校長)、副委員長(副校長・事務長)、主幹教諭、総務主任、各学部科主任を委員として、校内災害対策委員会を組織する。校内災害対策委員会は、月1回の定例会議の他、緊急時に必要に応じて開くものとする。

## (6) 年間計画

月	想定	内容	担当
4	年間計画作成 避難経路の確認	幼児児童生徒の通学状況、障害の実態を把握し、防災対策計画を作成する。各教室担当が避難経路を確認する。	保健安全
6	避難訓練(火災想定) 緊急対応訓練 不審者対応訓練①	放送の指示に従って避難する。 各学部で計画し、それぞれで実施する。 不審者の侵入を想定し、不審者対応職員と児童生徒誘導職員に分かれ実施する。(教職員のみ)	保健安全 生活地域
9	総合防災訓練 (地震想定)	防災訓練(担架での運搬含む)、防災の話	保健安全
11	避難訓練 火災想定 不審者対応訓練②	放送の指示に従って避難する。	保健安全
1	避難訓練 地震発生	地震発生の放送の合図で開始。約3-5分間身を守る姿勢で待機、教職員の指示に従って避難する。	保健安全
2	年度反省 次年度計画検討	今年度の実施状況について改善すべき点を検討し、次年度計画について検討する。	保健安全

# 11. 過去10年における高等部卒業生の進路状況

(1) 本科普通科

(R8.5.1)

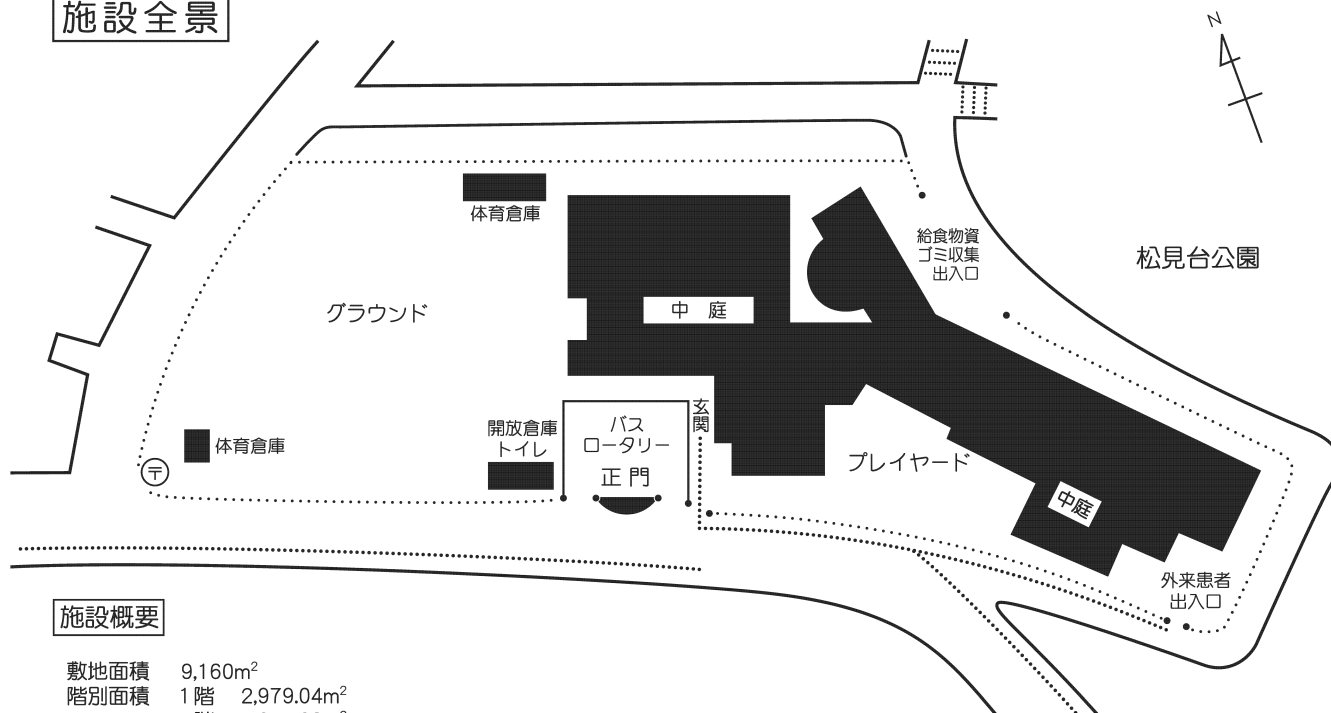
進路先		年度										計
		R7	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	
卒業生総数		3	12	5	4	3	15	6	8	4	6	66
進学	大学	1	4				2	1	1		1	10
	専門学校						1	1				2
	専攻科理療科 保健理療科	1	1						2	1		5
	その他	1							1			2
一般就労			1	1		1	1	2				6
福祉 サービス	就労継続支援A型						1					1
	就労継続支援B型		1		2		2				1	6
	就労移行支援			1	1	1	1		2			6
	自立（生活）訓練						1					1
	生活介護		4	2	1	1	6	2	2	3	4	25
	施設入所支援			1								1
その他	受験準備											
	その他		1									1

(2) 専攻科保健理療科・理療科

進路先		年度										計
		R7	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	
卒業生総数		5	4	3	8	9	10	5	9	7	7	67
治療院	開業				4		1					5
	勤務										1	1
	訪問マッサージ				1				1		2	4
企業等 就労	病院・診療所											
	ヘルスキーパー	4	2	3	3	3	6	4	5	6	1	37
介護施設	特別養護老人ホーム								1			1
	デイサービス								1			1
進学	筑波大学理療科 教員養成施設					1		1				2
	本校理療科					2	1					3
	その他		1			1			1		1	4
その他	三療以外の就労		1			1	1				2	5
	その他	1				1	1			1		4

# 12. 施設概要

## 施設全景

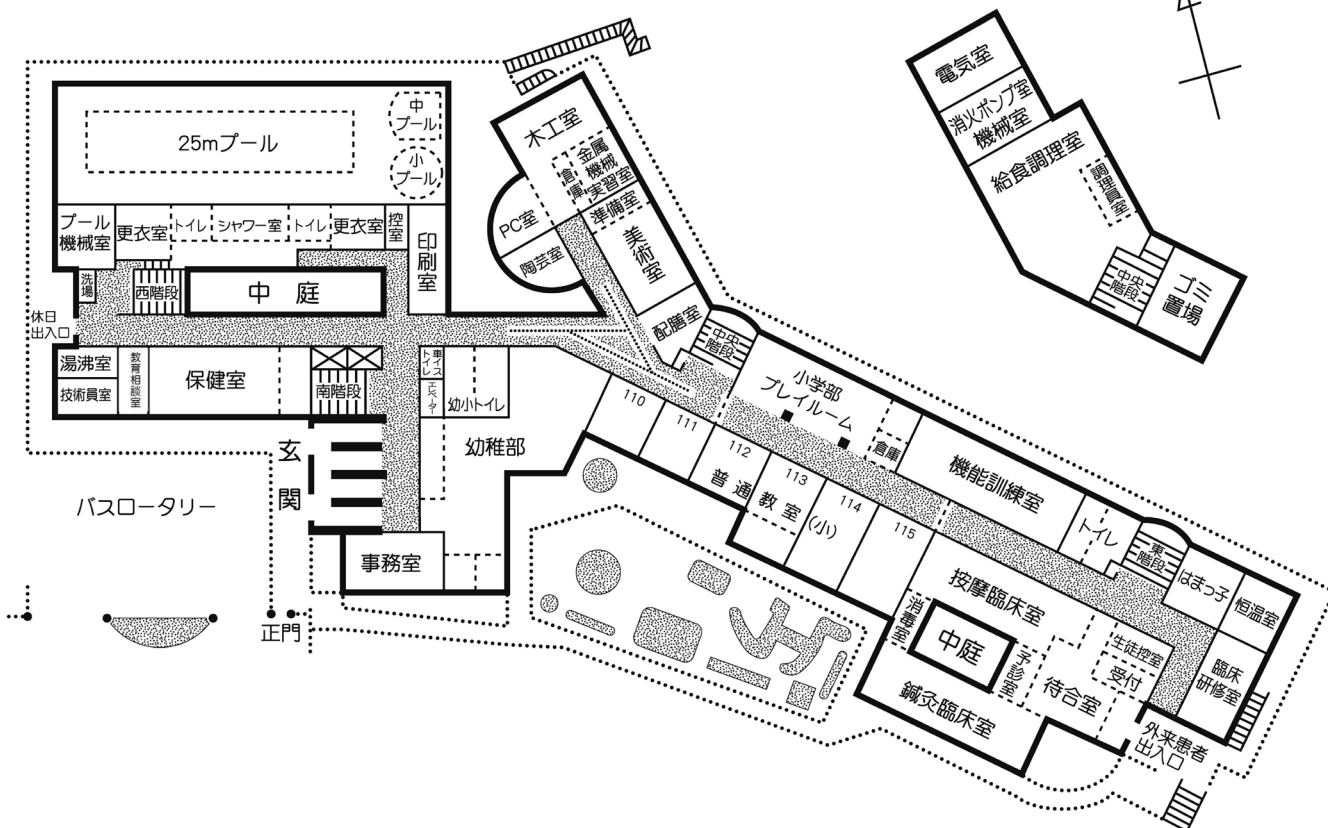


## 施設概要

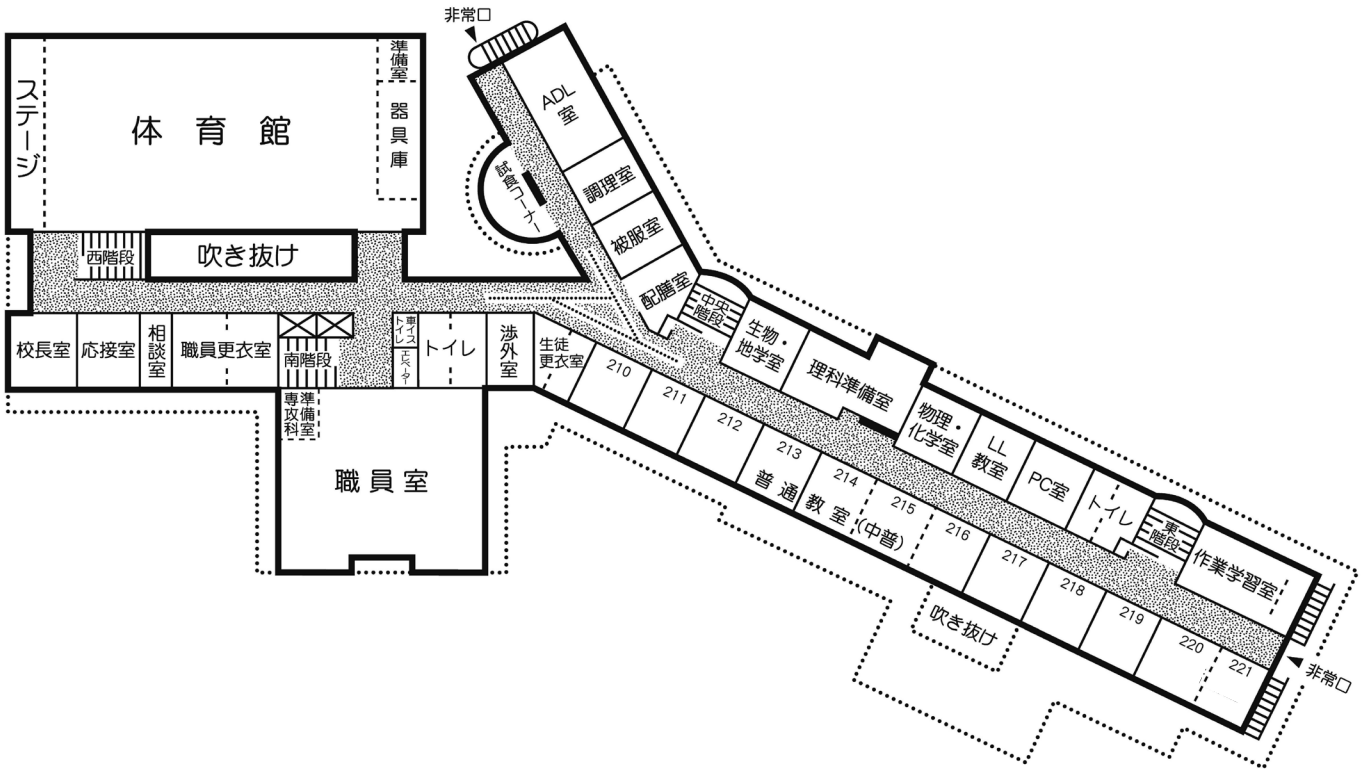
敷地面積	9,160m <sup>2</sup>
階別面積	1階 2,979.04m <sup>2</sup>
	2階 2,622.63m <sup>2</sup>
	3階 1,891.64m <sup>2</sup>
	B階 403.04m <sup>2</sup>
	屋上 50.19m <sup>2</sup>
	倉庫 28.90m <sup>2</sup>
合計	7,975.44m <sup>2</sup>

## 1階平面図

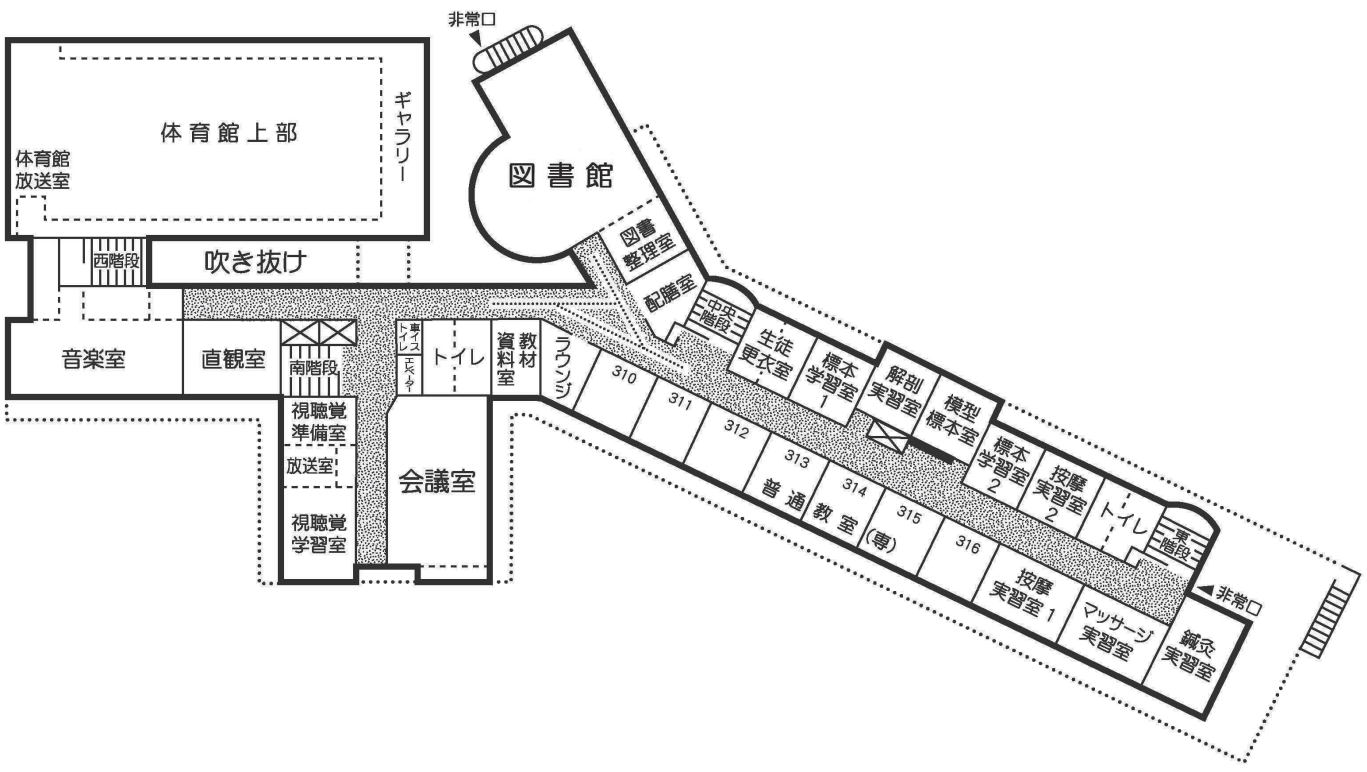
## B階平面図



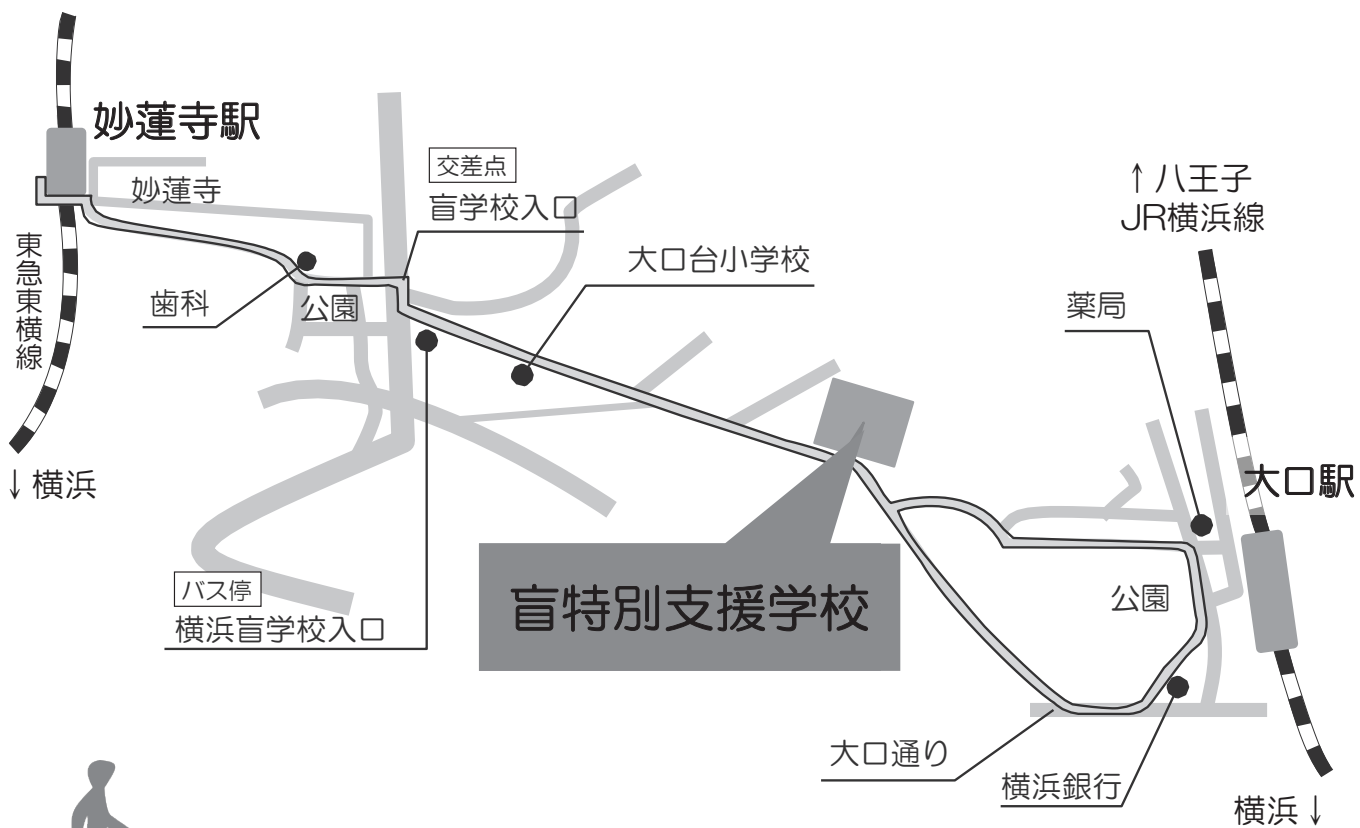
2階平面図



3階平面図



### 13. 学校付近の地図



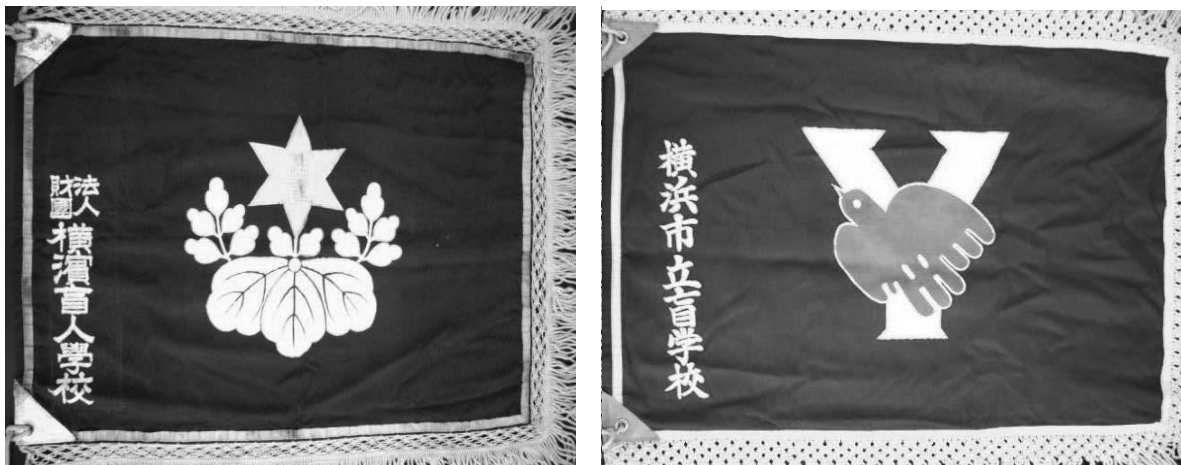
駅から盲学校までの道路には、黄色い誘導ブロックが敷設されています。

#### 交通

- ・ 妙蓮寺駅（東急東横線）より徒歩 12 分
- ・ 大口駅（JR 横浜線）西口より徒歩 8 分
- ・ 「横浜盲学校入口」バス停（市営バス 59）より徒歩 6 分
- ・ 子安駅（京浜急行線）より徒歩 24 分

※いずれからも黄色い誘導ブロックが盲特別支援学校までの道路に敷設されています。

## 14. 校章の由来（左が2代目、右が3代目の校旗）



本校の校章に使われている『Y』は、本校が横浜市立の学校であることを表しています。また、この『Y』が白抜きになっているのは、鍼・灸・あんまの三療（医療従事者）養成校としての歴史を表す「白」に意味が込められているためです。背景の赤紫色は、「再出発」の思いを象徴しています。

校章のモチーフとなっているのは『青い鳥』です。この『青い鳥』の由来は、福祉活動で有名なヘレン・ケラー女史にあります。彼女がパーキンス盲学校を卒業後、ラドクリフ女子大学（現在のハーバード大学）に進学し、優秀な成績で卒業した1904年、当時大学を訪れた『青い鳥』の作者、メーテルリンク夫人が、ケラー女史に「あなたこそ幸福の『青い鳥』を発見したただ一人の人である」と祝福の言葉を贈ったという逸話が元になっています。

1950年（昭和25年）、本校は市立へと移管されました。その際、児童や生徒たちがヘレン・ケラー女史のように、明るく、楽しく、正しく努力し、「希望の青い鳥」を見つけられるようにとの願いを込めて、美術科教諭の横尾久子先生が『Y』に『青い鳥』を加えたデザインを考案しました。

この思いは、初代校長の靄見明音先生が作詞した校歌「明るく強く正しく学び、希望の高嶺にいまぞのぼらん」の歌詞にも込められています。こうしたご縁から、1955年（昭和30年）にはヘレン・ケラー女史が来校し、1999年（平成11年）にはパーキンス盲学校の校長も来校しています。

なお、現在の校章は本校の前身である「横浜盲人学校」から数えて三代目になります。初代の校章は、1899年（明治32年）11月、校舎が野毛町2丁目から羽衣町1丁目に移転した記念に制定され、「紫地に白抜きの桜花、その中心に金文字で『鍼醫』」とされていました。

二代目の校章は、1907年（明治40年）4月、学校名が私立「横浜盲人学校」と改名されたことを記念して制定されたもので、「海と横浜港を表す青紫地に、桐の花と光明を象徴する黄星、その中に金文字で『横盲』」と記されています。なお、五七の桐は、学校を運営していた浅水家の家紋であり、私立盲学校としての背景を示しています。この校章は、創立者である浅水進太郎校長が、眼科診察の合間に自らデザインしたと伝えられています。

平成12年横浜市移管50年・創立112周年式典にあたり、山内 修学校長の指示で教務部職員が当時の職員の家族にお聞きし、過去資料を調査するなどしてまとめました。

平成12年10月  
令和6年5月一部再構成